

事務事業名		重度心身障害者医療費助成事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和48 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入			
	施策名	14 障害者福祉の推進					
	基本事業名	01 自立支援の充実					
根拠法令		重度心身障害者医療費給付条例および同規則		予算科目 会計 01 款 03 項 01 目 01 事業 00			
所属	部課名	国保年金課					
	課長名	大浦 公友					
	係名	医療給付係	電話 0192-27-3111				
	担当者	菊地 敦子	内線 142				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
重度心身障害者の医療費について助成を行う事業。(所得制限あり) 受給者が医療機関等に支払った医療費を給付する。なお、1レセプトにつき入院5,000円、入院外1,500円の自己負担あり。ただし、非課税世帯の場合は自己負担なし。 主な事業内容は次のとおり。 ①重度心身障害者および同一世帯員の所得を審査し、受給者を決定する。(または却下する) ②受給者から出された医療費給付申請の内容を審査し、医療費を給付する。 ③受給者に毎月、医療費の給付内容を通知する。 ④その他受給者の住所・加入保険等の変更に係る事務。 事業費は主に医療費の給付に支出される。				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
		都道府県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源					
		事業費計(A)	0				
		人件費	正規職員従事人数				
			延べ業務時間				
			人件費計(B)				
			トータルコスト(A)+(B)				
			0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 受給者審査数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 医療費給付審査数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 受給者審査数	人	イ 医療費給付審査数	件	ウ	
名称	単位								
ア 受給者審査数	人								
イ 医療費給付審査数	件								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動)									
前年度と同じ。									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・身体障害者手帳1・2級、障害基礎年金1級、療育手帳A判定および特別児童扶養手当1級 ・医療費(1レセプトごと入院5,000円、入院外1,500円を超えるもの・非課税世帯および就学前児童は全額)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 受給者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 医療費給付額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 受給者数	人	キ 医療費給付額	千円	ク	
名称	単位								
カ 受給者数	人								
キ 医療費給付額	千円								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
医療費を助成し経済的負担の軽減を図ることによって、安心して医療が受けられるよう支援する。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 一人当たり医療費給付額</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>シ 医療費給付額/医療費申請額</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 一人当たり医療費給付額	円	シ 医療費給付額/医療費申請額	%	ス	
名称	単位								
サ 一人当たり医療費給付額	円								
シ 医療費給付額/医療費申請額	%								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
重度心身障害者の生活を安定させ、自立を支援する。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td>34,347</td> <td>36,553</td> <td>36,454</td> <td>36,376</td> <td>44,400</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>33,736</td> <td>33,800</td> <td>37,215</td> <td>36,544</td> <td>45,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>68,083</td> <td>70,353</td> <td>73,669</td> <td>72,920</td> <td>89,700</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>4,000</td> <td>4,000</td> <td>4,000</td> <td>4,000</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>72,083</td> <td>74,353</td> <td>77,669</td> <td>76,920</td> <td>93,700</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>人</td> <td>1,025</td> <td>1,035</td> <td>1,030</td> <td>1,036</td> <td>1,050</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>件</td> <td>15,283</td> <td>15,567</td> <td>16,353</td> <td>17,385</td> <td>19,900</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>1,025</td> <td>1,035</td> <td>1,030</td> <td>1,036</td> <td>1,050</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>千円</td> <td>68,083</td> <td>71,772</td> <td>73,669</td> <td>72,990</td> <td>89,700</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>円</td> <td>66,422</td> <td>69,345</td> <td>71,524</td> <td>70,454</td> <td>85,429</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			単位	年度						23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	投入量	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円	34,347	36,553	36,454	36,376	44,400	地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	33,736	33,800	37,215	36,544	45,300		事業費計(A)	千円	68,083	70,353	73,669	72,920	89,700		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		人件費計(B)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000		トータルコスト(A)+(B)	千円	72,083	74,353	77,669	76,920	93,700	⑤活動指標	ア	人	1,025	1,035	1,030	1,036	1,050	イ	件	15,283	15,567	16,353	17,385	19,900	ウ							⑥対象指標	カ	人	1,025	1,035	1,030	1,036	1,050	キ	千円	68,083	71,772	73,669	72,990	89,700	ク							⑦成果指標	サ	円	66,422	69,345	71,524	70,454	85,429	シ	%	100	100	100	100	100	ス													
	単位			年度																																																																																																																																																																
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																													
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																		
	都道府県支出金	千円	34,347	36,553	36,454	36,376	44,400																																																																																																																																																													
	地方債	千円																																																																																																																																																																		
	その他	千円																																																																																																																																																																		
	一般財源	千円	33,736	33,800	37,215	36,544	45,300																																																																																																																																																													
	事業費計(A)	千円	68,083	70,353	73,669	72,920	89,700																																																																																																																																																													
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1																																																																																																																																																													
	延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000																																																																																																																																																													
	人件費計(B)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000																																																																																																																																																													
	トータルコスト(A)+(B)	千円	72,083	74,353	77,669	76,920	93,700																																																																																																																																																													
⑤活動指標	ア	人	1,025	1,035	1,030	1,036	1,050																																																																																																																																																													
	イ	件	15,283	15,567	16,353	17,385	19,900																																																																																																																																																													
	ウ																																																																																																																																																																			
⑥対象指標	カ	人	1,025	1,035	1,030	1,036	1,050																																																																																																																																																													
	キ	千円	68,083	71,772	73,669	72,990	89,700																																																																																																																																																													
	ク																																																																																																																																																																			
⑦成果指標	サ	円	66,422	69,345	71,524	70,454	85,429																																																																																																																																																													
	シ	%	100	100	100	100	100																																																																																																																																																													
	ス																																																																																																																																																																			

事務事業ID	0116	事務事業名	重度心身障害者医療費助成事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和48年10月より、県単独医療費助成事業の開始に伴い実施。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	当初、県単独医療費助成制度に併せ給付方法を現物給付としていたが、所得制限の緩和とともに平成7年8月より償還払いに変更となったほか、平成16年10月に対象者の拡大、受給者負担(1レセプトにつき入院5,000円、入院外1,500円)が導入された。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	①給付方法を、医療機関等で一旦支払い後日給付されるのではなく、最初から支払わずにすむ現物給付に。 ②所得制限の撤廃による対象者の拡大。 ③受給者負担の解消。 などの要望が受給者や議会から寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	助成によって重度心身障害者の医療費負担を軽減することにより、生活の安定や不安解消に結びつき、自立の支援に寄与する。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	重度心身障害者が安心して医療を確保し、自立を支援するという意味で妥当な事業である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	所得制限の緩和・撤廃によりさらなる支援の余地はあるものの、県で定められた要件に準じており、現段階では妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	書類の整った受給者証交付申請を随時、給付申請をその月内にすべて処理しており、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	重度心身障害者の経済的負担が重くなり、自立の促進が懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】	医療費そのものを助成する制度はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	事業費削減は重度心身障害者の経済的負担に直結するため。また、障害者自立支援法の制定により、対象者が増加している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	平成18年度から、雑務や窓口対応を臨時職員がカバーして残業を少なくしており、個人情報保護という観点から人件費ではこれ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	所得が低い人ほど負担が大きいことから、県の制度と同じく所得制限・受給者負担を導入し、公平性を保っている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 良好に事業実施がなされた。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>平成25年10月より乳幼児医療費の対象者拡大に伴い、当該事業の対象者においても小学校卒業までの児童の医療費を全額給付対象とした。 26年度は、年間を通して小学校卒業時までの児童の医療費が全額対象となる初年度であったが、前年度同様、当該事業の小学生はほとんどいなかったことから、成果及びコストに対して大きな変化は見られなかった。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 県の情報の入手。他の県単独事業と併せての調整。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	国保年金課長	大浦 公友
---------------	-------	--------	-------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>対象拡大に伴い、適正な事務執行に努める。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●	○	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●	○																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
